

平成27年度事業計画

(平成27年4月1日から平成28年3月31日まで)

総括事項

木曾三川水源造成公社は、昭和44年に設立され、木曾三川の上流部の水源地帯を対象に水源の涵養、国土の保全、二酸化炭素の吸収など、森林の有する公益的機能を持続的に発揮することができる森林の造成を分収方式により計画的に推進してきました。

設立当初に植栽した森林は10齢級になり、これまでの公益的機能に加え、木材の生産機能についても充実してきており、間伐事業を中心に計画的に実施しているところです。

しかし、木材価格の長期低迷及び労務単価の高騰による収益性の低下により公社の経営は非常に厳しいものとなっています。

このため、平成24年度から取り組んでいる累積債務の抑制、森林管理の効率化及び木材生産体制の整備を柱とする経営改善計画(アクションプラン)を確実に実行し、より一層の経営改善を進めます。

I 共同水源林造成事業計画 (森林整備事業)

事業の実施について、利用間伐事業を計画的に実施し、必要な路網については、公社分収林の周辺の森林と連携し、共同で森林経営計画を策定するなどし、効率的な施業、木材の搬出、輸送ができるよう整備を進め木材の生産及び販売収入を確保していきます。

保育事業の実施にあたっては、補助率の良い補助事業を活用し、経費の縮減を図りながら森林の適正な整備、獣害の防除等を行います。

公社有林での事業においては、事業費の縮減と事業の透明性を確保するため、引き続き競争原理を導入します。

また、水源林としての機能をより高度に維持・発揮していくための、分収造林契約の契約期間の延長及び公社の経営改善を図るための分収割合の変更について、森林所有者、造林者に理解を求め、関係森林組合の協力を得て契約更改作業に取り組みます。

2 事業計画

(単位:円・千円)

事業区分		当初予算額				備考
		数量	単位	造林単価	事業費	
保 育 保 護 事 業	除 伐 I	10.00	ha	180,387	1,804	
	保 育 間 伐	58.60	ha	216,143	12,666	
	枝 打 (2回)	54.67	ha	339,740	18,574	
	利 用 間 伐 (12 齢 級 以 下) 胸 高 直 径 22cm 未 滿	114.44	ha	445,718	51,008	
	利 用 間 伐 (12 齢 級 以 下) 胸 高 直 径 22cm 以 上	106.74	ha	595,268	63,539	
	保育作業路開設	10,730	m	2,500	26,825	
	獣 害 防 除	100.00	ha	55,413	5,542	
	作 業 路 補 修	70,000	m	177,143	12,401	1,000m当り単価
	作業路災害復旧	20	m	11,500	230	
	林 地 保 護 工	120	m	49,032	589	10m当り単価
	雑 費				500	
	小 計				193,678	
整 備 事 業	雪 起 し	2.40	ha	153,737	369	
	小 計				369	
事業費計					194,047	

3 契約更改(長伐期の変更)

(単位:件)

区 分	揖斐川町	関市	郡上市	中津川市	下呂市	高山市	計
更改予定件数	40	0	3	47	2	50	142

4 契約更改(分収率の変更)

分収割合変更作業は、平成27年度から2カ年で実施。

II 公益森林管理事業

公所有林を管理するための管理歩道を開設するとともに、火災防止等のための巡視や境界の保全のための伐開を行い森林の適正な管理に努めます。

また、下流域の住民の参加による「水源林見学会」の開催や、県内外における地方公共団体等の主催する催しへの出展を通し、公社事業の重要性を流域住民にアピールするとともに水源林整備に対する理解を深めてまいります。

2 事業計画

(単位:千円)

区 分	数量 (m)	金 額	摘 要
管理事業			
管理歩道開設	1,000	425	
境界伐開	22,000	255	
啓発普及		1,300	水源林見学会(公社開催) 森と木とのふれあいフェア(岐阜県 主催に出展) エコ市・なごや水フェスタ(名古屋 市上下水道局主催に出展)
計		1,980	

III その他

国内における温室効果ガス排出削減・吸収量をカーボン・オフセットに用いられるクレジットとして環境省より認証された、木曾三川水源造成公社・間伐促進プロジェクト～水源の森づくりプロジェクト～で取得したオフセット・クレジット13,050tについて、カーボンオフセットに取り組む事業者等への販売を進め事業実施の経費等へ活用します。

また、分収造林契約者に対して、分収造林地での森林施業情報などを発信して契約者との距離を縮め、分収造林契約者の転居や相続等の情報の把握に努めます。